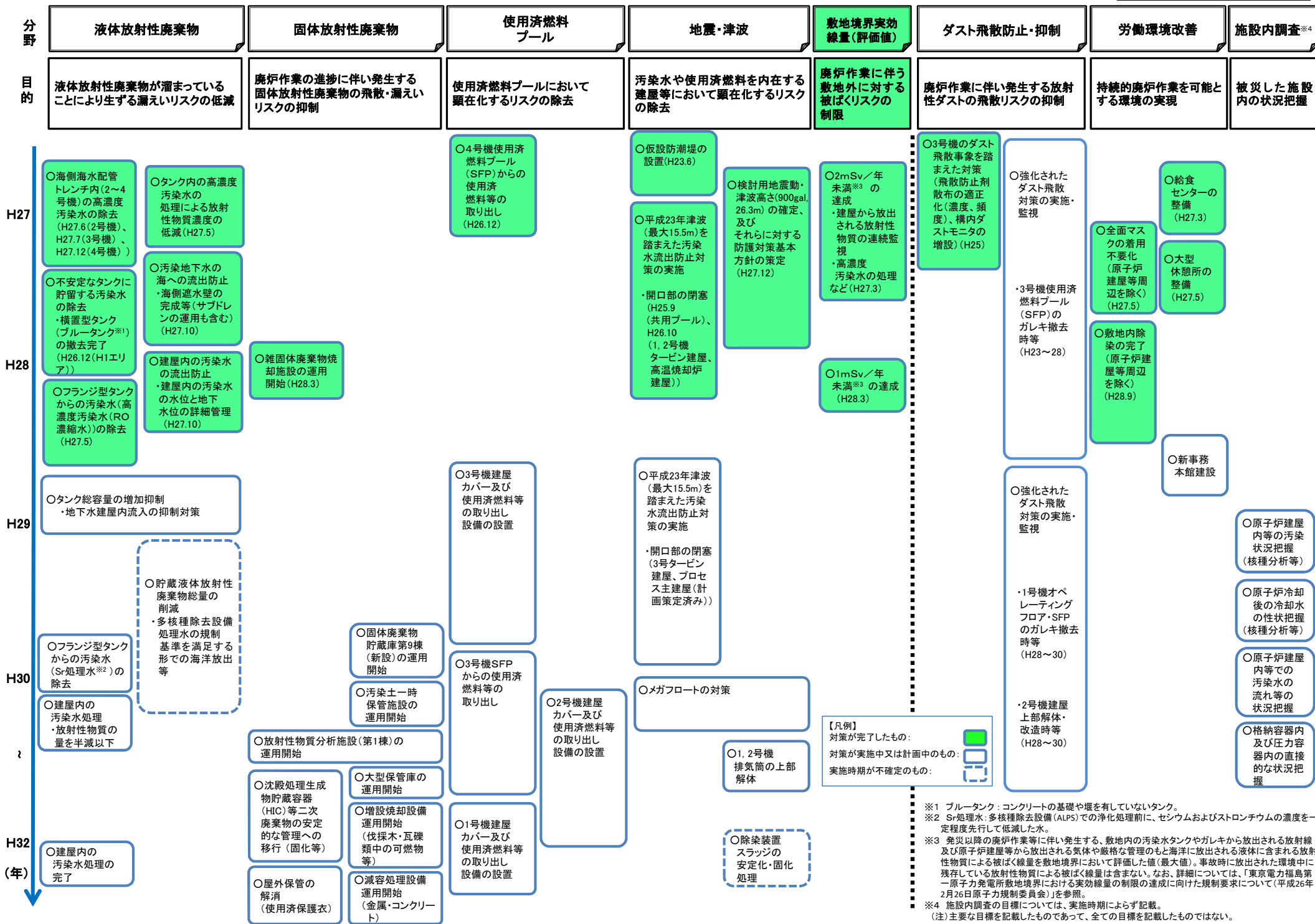





東京電力福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップ(平成28年12月版)

平成28年12月14日
原子力規制委員会

特定原子力施設監視・評価
検討会(第53回)
参考1



【凡例】
対策が完了したもの: 
対策が実施中又は計画中のもの: 
実施時期が不確定のもの: 

※1 ブルータンク: コンクリートの基礎や堰を有していないタンク。
 ※2 Sr処理水: 多核種除去設備(ALPS)での浄化処理前、セシウムおよびストロンチウムの濃度を一定程度先行して低減した水。
 ※3 発災以降の廃炉作業等に伴い発生する、敷地内の汚染水タンクやガレキから放出される放射線及び原子炉建屋等から放出される気体や厳格な管理のもと海洋に放出される液体に含まれる放射性物質による被ばく線量を敷地境界において評価した値(最大値)。事故時に放出された環境中に残存している放射性物質による被ばく線量は含まない。なお、詳細については、「東京電力福島第一原子力発電所敷地境界における実効線量の制限に向けた規制要求について(平成26年2月26日原子力規制委員会)」を参照。
 ※4 施設内調査の目標については、実施時期によらず記載。
 (注) 主要な目標を記載したものであって、全ての目標を記載したのではない。